

木もれ日 通信

K o m o r e b i T s u s h i n

第65号

平成30年4月
つきだて花工房発
季刊誌

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

サクラ サクラ
弥生の里をあえかに染めよ

「はーるーの おーがーわーは
さーらーさーらーゆーくよー…」
女先生の弾くフガフガしたオルガンに
合わせて幼い歌声が校舎の一角から
響いてくる。

「もっと大きく口を開いてー」

女先生に促され、小学校に上がったばかりの子供たちは小さな口を一所懸命に開けて歌う。彼は歌いながらそつと窓の外を眺めた。麗らかな陽光に包まれた校庭を取り巻くように、桜の若木がチラホラと薄紅色の花を咲かせている。春の光に、木肌は若々しい銀色に光っていた。

あの日のように校庭には春の陽が降り注いでいる。彼が小学校に上がった年は春寒で、3月の末になって日陰に消え残っていた雪がようやく消え、桜の花は4月も半ば近くなつて咲き始めたのだ。今年はそのときとは違つて、3月になってから暖かい日が多く、4月の声を待たずに桜は満開を迎えた。あのととき若々しく銀色に輝いていた木肌はすっかり黒ずみ、その代わりに、枝という枝にあの日のような薄紅色の花をびっしりと咲かせている。

「桜の花の咲く頃は うららら うらららと 日はうららら…」

記憶の中の光景に被さるように、「春のうた」が頭の中に響き始める。

今日は彼の最後の卒業式だった。子どもがすっかり減つたこの地域に、

学校はもはや学校として存在するこ
とができなくなった。用務員として
永らくここで過ごしてきた彼の「学
校生活」も今日で終わるのだ。

あの頃、木の長い廊下があった校
舎は鉄筋コンクリートで建て替えら
れ、古い校舎のあった場所は駐車場
になっていた。あのととき、一年生とし
て立っていた教室とおぼしき場所に
立つて、そのときのように校庭を眺め
てみた。

「ガラスの窓さえみなうらら 学校
の庭さえみなうらら」

うたはまだ続いていた。いや、そ
れはいつの間にか口ずさんでいた彼自
身の声だった。

あの日のような麗らかな陽光に包
まれて、汗ばむほどだ。それでも彼
の心の中にはぽつかりと空隙が開い
て、春のうたとオルガンの伴奏がそ
の中に響いていた。その空隙は学校と
いう役目を終えた校舎のようだった。
迎える人もいなくなった桜が薄紅色
に霞んで見えた。





お客様ノオト

このノートはたくさんのお客様の笑顔と思い出が詰まった
つぎだて花工房の宝石箱です



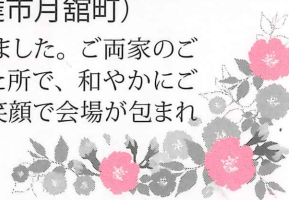
◆菅野様 (千葉県)

地元・月舘町の幼馴染でのお食事会でした。毎年花工房に集まり、時間が経つのも忘れて近況や懐かしい思い出話に花を咲かせていらっしゃいます。そして、カラオケでもとても盛り上がり、笑顔が絶えないお食事会でした。



◆近野家様・岡崎家様 (伊達市月舘町)

ご両家様の顔合わせでご利用頂きました。ご両家のご紹介から始まり、少し緊張が取れた所で、和やかにご会食。皆様からの祝福のお言葉と笑顔で会場が包まれていました。



◆ヘルスアップ なかよし様 (福島市)

月2回集まり、健康寿命を延ばすように楽しく運動をされている皆さまです。これからも運動を欠かさず、いつまでもお元気で健康寿命が延びるように、体を保って下さいね!



◆なかよし会様 (二本松市)

なかよしメンバーでのお食事会でした。お話が尽きることなく盛り上がっていました。皆様お元気で笑顔が印象的で、私も元気を頂きました!



◆山遊里の会様 (福島市)

年6回、5月~11月の間に山登りをする皆さまです。当日は天気も良く、花工房の周りを散歩したり、お風呂に入ったりと思いに過ごされていました。月舘の山や花工房の近くの山に登った際には、汗を流しにお風呂にいらしてくださいね。



◆荒木家様・佐藤家様 (伊達市月舘町)

ご両家様の顔合わせでご利用頂きました。終始賑やかな雰囲気の中でお食事進み、会話も弾んでいました。夏にはもう一人家族が増えるとのこと、今から楽しみです。



◆三浦様 (福島市)

結婚5周年は「木婚式」というそうで、記念に交流館もりもりで「森の時計づくり」をされました。ご夫婦で工夫を凝らして、素敵な「オンリーワン」の時計を完成。この時計とともに、これからもご家族で幸せな時を刻んでください。



季節の一品

花山葵のゼリー寄せ

今年ついに月館産の花山葵が解禁となりました。そこで今回は花山葵の辛みの出し方などを紹介したいと思います。



—材料 (4人分)—

花山葵	30g
粉ゼラチン	5g
かつお出汁	270cc
薄口しょうゆ	30cc
みりん	15cc

作り方

- ① 花山葵を水洗いし、食べやすい大きさに切ります。ザル（深型）とボウルを用意し、切った花山葵を入れておきます。
- ② 熱湯（80℃くらい）を用意し、①を10秒ほどさっと浸します。（お湯に浸すというより通す感じです。）
- ③ 素早く水で冷まし、塩を一つまみくらい加えてもみこみます。（花山葵の繊維がこわれ、辛みが出ます。）
- ④ 密閉できる容器（フタ付の瓶など）にいれて冷蔵庫で保存してください。半日くらいで辛みが出ます。

以上が花山葵の下処理となります。そのまま醤油をかけて食べても良いですし、写真のように花山葵を粉ゼラチンで寄せてもおいしいです。みなさん、挑戦してみてください。

厨房のイチオシ!

今回は一品一品に春の訪れを感じて頂ける「春のお膳」を紹介します。オススメは凍み大根と凍み豆腐の煮物です。凍み大根をじっくり戻し、旨味と出汁のきいた煮物は、食べるとどこかホッとする、この時期の福島ならではの味わいです。

ちょっと豪華な百合の膳にはエゴマ豚の、花の膳には福島牛のステーキがつき、それぞれ花山葵のソースでお召し上がりいただけます。春ならではの食材であるフキ・タケノコ・ワラビ・フキノトウ・ウド・タラノメやアサリ・ホタルイカ・サワラ・ニシンと、山の幸、海の幸がふんだんに楽しめる春のお膳。活動的になる季節に向けて、カラダの中からハツラツと!

地粉絹あずまのうどん打ち

◆大教スイミングスクール様

大教スイミングスクールの郡山北校・二本松校合同で、総勢46名の子どもたちがうどん打ちを体験しました。講師の本田洋子さんのお話をよく聞いて、一生懸命力を入れて、腰のあるうどんを打っていました。持ち帰って家族と食べたうどんは自慢できる美味しさだったでしょうね。



◆ティーチャリングツアー様

伊達市富成女性部の皆さんと、東京から来たティーチャリングツアーの大学生たちがうどん打ちを楽しみました。ベテランの女性部の皆さんと初体験の大学生が力を合わせて打ったうどんは格別の美味しさでしたね。このあと学生たちは4か所の児童クラブで子どもたちと交流したそうです。



花々日記

シーズンイン!

花工房が立地する里山では、春になると様々な生命が蠢き始めます。虫、冬を越した草たち、木々。ど

んぐりもそのひとつ。木の「たね」であるどんぐりは、一定の温度と湿度を得ると固い殻を破り、まず根を伸ばし始めます。根がある程度伸びると次は更に殻を破ってぼつりとした葉を伸ばし始めます。幸運な個体は数十年先に次の命をつなぐ親となつていきます。

温かくなると里山に暮らす人たちの心も落ち着きがなくなってきました。今年は畑のここには何を植えて、あそこはこうして、あ、種買ってなかつた、等々。冬の間ずっと土が凍り付いて何もできなかった畑仕事はあれよあれよという間に大忙し。ポツナリしている季節に置いて行かれてしまします。

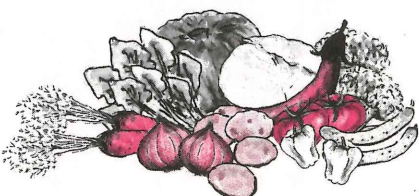
そんな畑では、里山の木々が数十年、数百年単位で繰り返していることを数ヶ月というスパンで見ることができません。畑仕事をすることがないと見る機会がないかもしれません。野菜の種はとも小さいものが多い。それが温度と湿度で小さな芽を出し、少しずつ成長してたくさんの実を付けたり、大根や白菜のよう

な大きな野菜になります。そんなドラマチックな命の営みに、数ヶ月という短い時間で触れることができる畑仕事は、一度はまるっととても楽しいものです。もちろん、多くの失敗はありますが、逆に「来年こそは」という気持ちになるのが不思議です。

そして迎える収穫の喜びはまたひとしお。過酷な夏の暑さの中、一息ついて、なっているキュウリをもぎ取り、かじると、わずかな果汁と共に青い匂いが口に拡がり、ほのかな甘さが追いかけてくる。例えば、「はごめ」という在来種は、スーパーで買うキュウリでは味わうことのできない歯切れの良さ。そんな「お金で買うことができない」ことも農の楽しみの一つです。

頭を使って作付けを考えたり、種を仕入れてワクワクしたり。土の上で身体を使って。収穫の喜び、片付け終えた畑で味わう充足感。今年の失敗のレビューを来年に誓い。

「農」という字は「みのり」とも読みます。今年もみのり多き農になりますように。



日々の暮らしにハーブの香りを〜ハーブ教室・今後の予定

講師：瀧田 勉先生（ハーブとスローライフの研究者）
参加費：1,800円（材料費・税込）

5月28日（月）「ハーブガーデニング応用編・ハーブの苔玉作り」
6月25日（月）「ハーブ&スローライフ・ラベンダークラフト」
7月23日（月）「ハーブ&スパイスカレー・ピクルス」

第9回 ポピーとバラ咲く丘の手作りクラフト展

モノ作りびとフェア

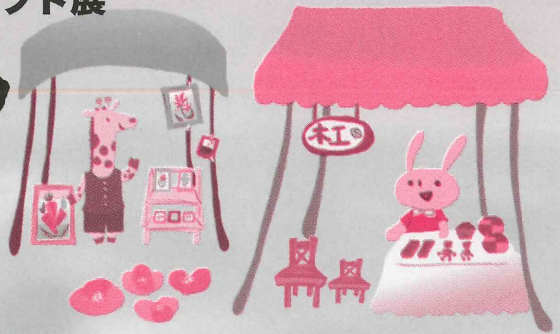
in つきだて花工房

5/26(土) 27(日) 10:00~16:00

会場 つきだて花工房 (雨天決行)

駐車場 月館運動場 (つきだて花工房向かい・無料)

- ファジーネーブルライブ 5/27 14:00 ~
- ステキな賞品が当たるかも? スタンプラリー開催!
- バルーンアート・似顔絵・イノシシ革クラフト
木工クラフト-体験コーナー!



お問合せ

イラスト:クワキ

モノ作りびとフェア実行委員会事務局
〒960-0903 福島県伊達市月館町下手渡字寺窪7
TEL 024-571-1777
<http://monozukuribito.com/>



主催 モノ作りびとフェア実行委員会
共催 一般社団法人つきだて振興公社 伊達市月館総合支所
後援 福島民報社 福島民友新聞社 伊達市観光物産交流協会
福島放送 福島テレビ テレビユー福島 福島中央テレビ
ラジオ福島 ふくしまFM (順不同)

特別な人・特別な時・特別な料理

涼月会席文月膳

特別な人を笑顔にしたい。ほんのひとときでもその人との時を特別な時にしたい。そんな思いを特別な料理がお手伝いします。「涼月会席文月膳」今年も選りすぐりの食材を、素材の風味を活かしながら特別な味わいに仕立て、それを更に引き立てるお酒と共にお召し上がりいただけます。つきだて花工房の「特別」をぜひ大切な方とご堪能下さい。

期間：7月11日・12日・13日

料金：5,400円(税込・お飲み物別)

※お得な宿泊プランもご用意

仲間がそろったら

「会食・体験セットプラン」

昨年10月にデビューした会食と体験のセットプランが好評です。自分で打つうどんを会食時に試食できる「うどん打ちde会食プラン」や選んで作れる「会食+体験セットプラン」で、多くのお客様にご満足いただいております。4月からは月館のクラフト作家とのセットもスタート。仲間がそろったら、ぜひ!

内容：会食(お膳または松花堂 弁当)・大広間休憩・ご入浴・もりもり体験のセット

送迎：10名様より承ります

お客様の声

・日帰り入浴を利用した帰り際、初めて木もれ日通信を手にしました。季節感有りページをめくるとお客様ノットに知り合いの顔写真が。厨房だよりはレポーターの参考になりました。

(川俣町・T様)

・表紙のツバキを見ながら、昔、幼い頃上の家に行き、家の後ろに井戸がありツバキがたくさん咲いて、花が落ちていて、なつかしい風景がよみがえりました。会食・体験セットプランがあるのを初めて知り、気になりました。今度利用できればと思っております。

(梁川町・S様)

・印象に残った記事は表紙の「ジヨウビタキ」という冬鳥のこと。寒くなるどこからともなく庭に飛んできてエサをついばみます。その姿が新鮮でかわいらしく、いつまでもながめています。

(本宮市・M様)

読者プレゼント

月館育ちの

おいしい野菜の

詰め合わせを

3名様に。



※イラストはイメージです

ご応募はキーワード・氏名・郵便番号・住所・電話番号・木もれ日通信65号で印象に残った記事とご感想をお書きの上、ご応募下さい。メ切りは6月29日到着分まで有効です。宛先はこちら。

【ハガキ】

〒960-0903 福島県伊達市月館町下手渡字寺窪7 つきだて花工房
木もれ日通信読者プレゼント係

【Eメール】flower@hanakobo.jp タイトルに「木もれ日通信65号読者プレゼント係」とお書き下さい。

なお、当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。また、いただいた個人情報(つきだて花工房が責任を持って管理・保管し、プレゼント及び当館のご案内をお送りするほか、サービス向上のために使用させていただきます。)

今回のキーワードは：

「サクラ」

たくさんのご応募、お待ちしております!



編集後記

親しくしていただいた方が、相次いで鬼籍に入られた。多くの方とご縁を得るといふことの意味を実感。合掌。(つきはな)

桜の季節がやってきました! 毎年癒やされに花見に出掛けています! 今年はこの桜を見に行こうかな...と行きたい場所はいっぱいあります。皆様のおすすめの場所はどこですか? <由>

最近、クラシック音楽を聴き始めました。休日には春のポカポカとした日差しの中、優雅な時間を過ごしています。たまには芸術に触れるのも良いですね。<赤>

無料の高速道路が開通したので、早速、相馬まで行って、松川浦の青のりとちりめんじゃこ、かすべを買って来ました。旬の味、美味しかったです。<厚>

休館日 5/15、6/12、7/10 (全て火曜日)

5/15 (火)
6/14 (木)
7/13 (金)

【新月の夜】

4/30 (月)
5/29 (火)
6/28 (木)

【満月の夜】

月の明かりで疲れた心を癒したい。いまずくカレンダーにチェック!!

